



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日

上場会社名 株式会社中央倉庫 上場取引所 東
 コード番号 9319 URL <http://www.chuosoko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 木村 正和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 企画管理本部長 (氏名) 中村 秀麿 TEL 075-313-6151
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	25,927	△2.1	1,732	9.1	1,921	7.1	1,307	8.0
2020年3月期	26,475	0.9	1,587	3.1	1,793	3.3	1,210	46.6

（注）包括利益 2021年3月期 2,385百万円（399.8%） 2020年3月期 477百万円（8.2%）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	68.90	—	3.3	3.9	6.7
2020年3月期	63.66	—	3.1	3.8	6.0

（参考）持分法投資損益 2021年3月期 3百万円 2020年3月期 5百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	50,906	40,617	79.3	2,128.81
2020年3月期	48,290	38,659	79.6	2,026.47

（参考）自己資本 2021年3月期 40,388百万円 2020年3月期 38,447百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	2,902	△2,387	△136	3,907
2020年3月期	3,031	△7,198	1,054	3,529

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	10.00	—	12.50	22.50	427	35.3	1.1
2021年3月期	—	10.00	—	12.50	22.50	426	32.7	1.1
2022年3月期（予想）	—	10.00	—	12.50	22.50		36.5	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,980	△5.9	920	11.6	1,000	7.4	680	6.6	35.84
通期	24,000	△7.4	1,770	2.2	1,910	△0.6	1,170	△10.5	61.67

（注）2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の連結業績予想は当該会計基準を適用した金額となります。なお、2021年3月期を同様の基準で試算した場合、営業収益の通期予想額の前期比は6.6%増の見通しとなります。また、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益については、当該会計基準を適用したことによる影響はございません。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	19,064,897株	2020年3月期	19,064,897株
② 期末自己株式数	2021年3月期	92,423株	2020年3月期	92,423株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	18,972,474株	2020年3月期	19,007,118株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	25,956	△2.1	1,507	2.6	1,710	1.6	1,190	3.8
2020年3月期	26,504	0.9	1,468	3.5	1,683	4.2	1,146	53.3

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	62.72	—
2020年3月期	60.34	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2021年3月期	48,879		38,769		79.3		2,043.44	
2020年3月期	46,495		37,052		79.7		1,952.96	

(参考) 自己資本 2021年3月期 38,769百万円 2020年3月期 37,052百万円

2. 2022年3月期の個別業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	11,980	△6.0	830	18.3	910	11.3	640	11.6	33.73
通期	24,000	△7.5	1,580	4.8	1,740	1.7	1,090	△8.4	57.45

(注) 2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号）等を適用するため、上記の業績予想は当該会計基準を適用した金額となります。なお、2021年3月期を同様の基準で試算した場合、営業収益の通期予想額の前期比は6.5%増の見通しとなります。また、営業利益、経常利益、当期純利益については、当該会計基準を適用したことによる影響はございません。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2021年5月26日（水）に機関投資家・証券アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況によっては、開催を中止することもあります。その際は、開催中止決定後速やかに決算説明資料を当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結貸借対照表関係)	12
(連結損益計算書関係)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 個別財務諸表	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	20
5. その他	22

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、期前半においては新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて企業経済活動や個人消費が大きく制限されました。期後半には各種防止策も講じられ、また、海外経済の改善の影響もあり持ち直しの動きも見られましたが、依然として世界的に経済活動が抑制されるなど、厳しく、かつ、先行きが非常に不透明な状況となりました。

物流業界におきましても、人手不足による人件費の増加が続く中、このような国内外の経済環境の影響を大きく受け、荷動きが大きく変動をきたす等、引き続き厳しい経営環境で推移しました。

このような事業環境のもと、当社グループは、第6次中期経営計画「CHANGE! to 2021」の具体的取組を着実に実行に移し、また「CHANGE(意識・知識・組織)」の考え方の浸透を推し進めて参りました。また、変化が加速する顧客ニーズに的確に対応できる営業体制の構築と業務の効率化を推し進め、業務品質のさらなる向上を目指すとともに働き易い職場創りを進めました。また、ESGの取組みの一環として、廃PETボトルの再資源化を行う豊通ペトリサイクルシステムズ株式会社設立への参画や会議等のペーパーレス化の推進等に取組むなど、いわゆる新しい「企業文化」の創設にも取組みました。加えて、新型コロナウイルス感染拡大防止と従業員および関係取引先の安全を第一に考えつつ、市場環境の変化に的確に対応できる体制を整え、また、固定費の抑制等、財務の健全性確保に努めました。

これらの結果、当連結会計年度の営業収益は25,927百万円(前期比2.1%減)、営業利益は1,732百万円(前期比9.1%増)、経常利益は1,921百万円(前期比7.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は1,307百万円(前期比8.0%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(倉庫業)

倉庫業におきましては、入出庫高及び貨物回転率は前期に比し減少しましたが、再委託先も含めた期中の保管残高は増加し、また、料金改定も推し進めました。これらの結果、倉庫業の営業収益は6,616百万円(前期比1.3%増)、セグメント利益は保管残高が増加したことに加え、当社の物流ノウハウを活かした構内荷役作業サービスの提供、料金改定や貨物構成の見直し等の効果もあり1,154百万円(前期比39.5%増)となりました。

(運送業)

運送業におきましては、国内経済の停滞により取扱数量は減少しました。これらの結果、運送業の営業収益は12,451百万円(前期比2.1%減)、セグメント利益は貨物量の減少により一部に非効率な運行状況が見られたことや倉庫入出庫高の減少に伴う利益率の高い倉庫保管貨物の輸送量減少などの影響もあり880百万円(前期比17.1%減)となりました。

(国際貨物取扱業)

国際貨物取扱業におきましては、通関業の取扱数量は、国内および海外の経済活動の停滞の影響等から輸入は減少傾向にありますが、輸出は第3四半期より取扱数量が回復したことから前年同期に比し増加しました。梱包業の取扱数量については、得意先企業の海外営業展開の不振の影響等を受けて減少しましたが、海外市況の回復等の影響から第3四半期からはほぼ前年度並みの水準に戻りつつあります。これらの結果、国際貨物取扱業の営業収益は7,001百万円(前年同期比5.0%減)、セグメント利益は採算性の高い梱包業の取扱が減少した影響等により406百万円(前年同期比12.5%減)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,616百万円増の50,906百万円となりました。これは主に、固定資産の建物及び構築物が455百万円減少しましたが、流動資産の現金及び預金が新規借入れ等により378百万円、固定資産の投資有価証券が非上場会社株式等の新規取得及び株価の上昇により1,456百万円、現在建築を進めております梅小路地区の宿泊施設建設工事に係る建設仮勘定が1,117百万円、退職給付に係る資産が114百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

(負債)

当連結会計年度末の負債は、前連結会計年度末に比べ658百万円増の10,288百万円となりました。これは主に、流動負債の1年内返済予定の長期借入金が95百万円、その他に含まれております設備関係支払手形が278百万円、固定負債の退職給付に係る負債が61百万円、それぞれ減少しましたが、流動負債のその他に含まれております未払消費税等が214百万円、固定負債の長期借入金が新規借入れにより399百万円、繰延税金負債が有価証券評価益の増加等により373百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

(純資産)

当連結会計年度末の純資産は、前連結会計年度末に比べ1,957百万円増の40,617百万円となりました。これは主に利益剰余金が880百万円、その他有価証券評価差額金が948百万円、退職給付に係る調整累計額が111百万円、それぞれ増加したこと等によるものです。

この結果、当連結会計年度末の自己資本比率は、前連結会計年度末から0.3ポイント減少し、79.3%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローで2,902百万円の増加、投資活動によるキャッシュ・フローで2,387百万円の減少、財務活動によるキャッシュ・フローで136百万円の減少となり、前連結会計年度末に比べ378百万円(10.7%)増加し、当連結会計年度末には3,907百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、主に、税金等調整前当期純利益及び減価償却費によるものであり、2,902百万円と前年同期と比べ128百万円(4.3%)の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、主に、有形固定資産の取得及び投資有価証券の取得による支出によるものであり、2,387百万円と前年同期と比べ4,811百万円(66.8%)の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、主に、長期借入れによる収入があったものの、長期借入金の返済及び配当金の支払いによる減少もあり、136百万円(前期は1,054百万円の収入)となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期
自己資本比率 (%)	80.7	81.4	81.8	79.6	79.3
時価ベースの 自己資本比率 (%)	45.5	44.9	40.9	47.3	42.2
キャッシュ・フロー 対有利子負債比率 (年)	1.8	1.8	1.6	1.7	1.9
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	57.5	57.1	85.7	76.9	70.9

- ・自己資本比率 : 自己資本/総資産
- ・時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

- (注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
 2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
 3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
 4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

（4）今後の見通し

今後の見通しにつきましては、中国では緩やかな回復が続くことが予想され、世界経済は持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の再拡大によるリスク・影響が懸念され、また、日本国内ではワクチン接種が進むにつれてその影響が軽減されることが期待できるものの、その動向は予測しづらく、不透明な状況が続くものと思われます。

物流業界におきましてもこのような経済情勢を受けて、国内貨物の荷動きや輸出入貨物の取扱いの持ち直しが期待されるものの、依然として不安定な状況が続くことが予測され、経営環境としては厳しい状況が続くものと予想されます。

このような状況のもと、当社グループは、物流事業は社会基盤を支える重要な産業であるとの信念のもと、新型コロナウイルス感染拡大防止と従業員の安全を第一に考えつつ、第6次中期経営計画「CHANGE！to2021」のスローガンである「CHANGE」を今まで以上に推し進め、一層の経営の効率化と従業員が働き易い職場環境づくりを目指してまいります。

このような時期だからこそ、取引先の変化を察知し、営業方針・営業施策を固め、各営業所と本部とが連携して取引先のニーズにしっかりと応えることで、社会的使命を果たしたいと考えております。

また、デジタル技術の急速な進歩や市場の変化のなか、基幹業務システムのクラウド化や新しい業務システムの導入を図り、合理化・効率化にも積極的に取り組んでまいります。

加えて、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、会議のオンライン化、時差出勤やテレワークの実施等の対策を行い、従業員と取引先等関係者の安全を考慮し、感染拡大防止と適正な業務の継続に努めてまいります。

なお、2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」を適用することに伴い、国際貨物取扱業セグメントにおける国際貨物輸送等の一部取引に係る収益を総額ではなく純額で認識することになるため、営業収益が減少、営業利益率は上昇することを想定しております。また、梅小路地区の資産有効活用策である不動産賃貸計画におきましては、稼働時期が当初想定しておりました2021年6月から2022年3月予定に変更となったこと等により、営業収益、営業費用ともに減少し、営業利益についてはマイナス幅が減少することを想定しております。

このような状況を踏まえ、2022年3月期の連結業績予想につきましては、営業収益24,000百万円、営業利益1,770百万円、経常利益1,910百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,170百万円を見込んでおります。

また、個別の業績予想につきましては、営業収益24,000百万円、営業利益1,580百万円、経常利益1,740百万円、当期純利益1,090百万円を見込んでおります。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

詳細につきましては、本日（2021年5月13日）開示の「第6次中期経営計画の修正に関するお知らせ」を参照願います。

（5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社が営んでおります事業は、倉庫業を中心とした総合物流業で、経済活動に不可欠な公共性の高い業種であります。倉庫業の設備投資は中長期的観点から計画的かつ持続的に行っていく必要がありますが、事業の性格上その投下資本の回収は長期にわたらざるを得ません。こうした中で安定した営業基盤の拡充のためには、特に財務体質の強化と内部留保の充実が必要と考えております。

配当につきましては、事業の性格を踏まえ、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、株主利益を重視した配分を基本方針としており、純資産配当率（DOE:Dividend on Equity）1%程度（単体ベース）を下限の目処とし、加えて当期及び今後の業績、配当性向、財務面での健全性等を総合的に勘案するとともに、特殊な要因がある場合を除き、安定的な配当を実施することといたしております。

以上の方針に基づき、当期の配当金は、日頃の株主各位のご支援にお応えするため、1株につき中間配当金10円、期末配当金12円50銭の年間配当金22円50銭を実施することを予定しております。

次期の配当予想につきましては、中間配当金10円及び期末配当金12円50銭の合わせて1株につき年間配当金22円50銭を予定しております。

また、内部留保資金につきましては、競争力の強化のため、将来の経営基盤拡充の資金需要に備える所存であります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応する方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,729,082	8,107,374
受取手形及び営業未収入金	4,645,530	4,754,382
貯蔵品	17,872	9,138
その他	229,217	192,985
貸倒引当金	△1,905	△171
流動資産合計	12,619,797	13,063,709
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	※1,※2 13,694,857	※1,※2 13,239,320
機械装置及び運搬具(純額)	※1 597,177	※1 517,307
土地	※2 11,962,569	※2 11,962,569
リース資産(純額)	※1 24,794	※1 38,749
建設仮勘定	385,859	1,503,837
その他(純額)	※1 121,793	※1 103,835
有形固定資産合計	26,787,050	27,365,620
無形固定資産	42,204	89,835
投資その他の資産		
投資有価証券	※3 8,467,895	※3 9,924,554
繰延税金資産	55,158	38,997
退職給付に係る資産	—	114,997
その他	※3 319,558	※3 310,077
貸倒引当金	△1,419	△1,419
投資その他の資産合計	8,841,193	10,387,207
固定資産合計	35,670,448	37,842,664
資産合計	48,290,246	50,906,373

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,663,047	1,638,001
短期借入金	※2 3,110,000	※2 3,110,000
1年内返済予定の長期借入金	※2 573,168	※2 477,886
リース債務	9,250	11,647
未払法人税等	337,564	435,440
賞与引当金	270,433	287,658
役員賞与引当金	36,500	42,000
その他	762,032	692,499
流動負債合計	6,761,995	6,695,132
固定負債		
長期借入金	※2 1,480,386	※2 1,880,000
リース債務	17,854	30,908
繰延税金負債	953,496	1,327,144
退職給付に係る負債	188,756	127,641
その他	227,813	227,703
固定負債合計	2,868,305	3,593,398
負債合計	9,630,301	10,288,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金	2,263,807	2,263,807
利益剰余金	30,735,900	31,616,317
自己株式	△98,635	△98,635
株主資本合計	35,635,367	36,515,783
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,775,986	3,724,654
為替換算調整勘定	△1,964	△824
退職給付に係る調整累計額	37,739	149,193
その他の包括利益累計額合計	2,811,761	3,873,023
非支配株主持分	212,816	229,035
純資産合計	38,659,944	40,617,842
負債純資産合計	48,290,246	50,906,373

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業収益	26,475,432	25,927,637
営業原価	24,075,897	23,454,871
営業総利益	2,399,534	2,472,766
販売費及び一般管理費	※1 811,723	※1 740,250
営業利益	1,587,810	1,732,516
営業外収益		
受取利息	167	277
受取配当金	204,307	192,812
社宅使用料	12,096	13,920
持分法による投資利益	5,533	3,451
その他	25,076	22,608
営業外収益合計	247,181	233,070
営業外費用		
支払利息	35,321	40,375
その他	5,779	4,161
営業外費用合計	41,101	44,536
経常利益	1,793,890	1,921,049
特別利益		
固定資産売却益	※2 10,141	※2 3,212
投資有価証券売却益	30,059	41,273
特別利益合計	40,200	44,485
特別損失		
固定資産売却損	※3 33	※3 53
固定資産除却損	※4 6,831	※4 10,371
減損損失	—	※5 24,010
投資有価証券評価損	8,833	—
特別損失合計	15,698	34,436
税金等調整前当期純利益	1,818,392	1,931,099
法人税、住民税及び事業税	589,131	666,787
法人税等調整額	11,686	△60,748
法人税等合計	600,818	606,039
当期純利益	1,217,574	1,325,059
非支配株主に帰属する当期純利益	7,538	17,762
親会社株主に帰属する当期純利益	1,210,035	1,307,297

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	1,217,574	1,325,059
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△713,536	947,881
退職給付に係る調整額	△24,589	111,453
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,163	1,139
その他の包括利益合計	△740,289	1,060,474
包括利益	477,284	2,385,534
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	468,168	2,368,559
非支配株主に係る包括利益	9,116	16,975

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,734,294	2,263,807	29,953,871	△36,791	34,915,181
当期変動額					
剰余金の配当			△428,006		△428,006
親会社株主に帰属する当期純利益			1,210,035		1,210,035
自己株式の取得				△61,843	△61,843
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	782,028	△61,843	720,185
当期末残高	2,734,294	2,263,807	30,735,900	△98,635	35,635,367

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	3,491,100	199	62,328	3,553,629	204,455	38,673,266
当期変動額						
剰余金の配当						△428,006
親会社株主に帰属する当期純利益						1,210,035
自己株式の取得						△61,843
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△715,114	△2,163	△24,589	△741,867	8,360	△733,507
当期変動額合計	△715,114	△2,163	△24,589	△741,867	8,360	△13,321
当期末残高	2,775,986	△1,964	37,739	2,811,761	212,816	38,659,944

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,734,294	2,263,807	30,735,900	△98,635	35,635,367
当期変動額					
剰余金の配当			△426,880		△426,880
親会社株主に帰属する当期純利益			1,307,297		1,307,297
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	880,416	—	880,416
当期末残高	2,734,294	2,263,807	31,616,317	△98,635	36,515,783

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	2,775,986	△1,964	37,739	2,811,761	212,816	38,659,944
当期変動額						
剰余金の配当						△426,880
親会社株主に帰属する当期純利益						1,307,297
自己株式の取得						
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	948,668	1,139	111,453	1,061,261	16,219	1,077,481
当期変動額合計	948,668	1,139	111,453	1,061,261	16,219	1,957,897
当期末残高	3,724,654	△824	149,193	3,873,023	229,035	40,617,842

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,818,392	1,931,099
減価償却費	1,389,378	1,415,269
減損損失	—	24,010
賞与引当金の増減額(△は減少)	10,838	17,225
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△800	5,500
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△991	△1,733
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,254	△12,481
受取利息及び受取配当金	△204,475	△193,089
支払利息	35,321	40,375
為替差損益(△は益)	27	△65
持分法による投資損益(△は益)	△5,533	△3,451
投資有価証券評価損益(△は益)	8,833	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△30,059	△41,273
固定資産売却損益(△は益)	△10,107	△3,158
固定資産除却損	6,831	10,371
営業債権の増減額(△は増加)	△76,139	△108,851
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,597	8,734
その他の資産の増減額(△は増加)	101,545	20,942
営業債務の増減額(△は減少)	150,552	△25,046
未払消費税等の増減額(△は減少)	61,458	217,151
その他の負債の増減額(△は減少)	84,429	32,960
小計	3,333,160	3,334,488
利息及び配当金の受取額	204,975	193,589
利息の支払額	△39,436	△40,928
法人税等の支払額	△467,482	△584,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,031,216	2,902,365
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,950,000	—
有形固定資産の取得による支出	△4,088,161	△2,301,201
有形固定資産の売却による収入	38,895	26,792
有形固定資産の除却による支出	△233,280	—
投資有価証券の取得による支出	—	△155,837
投資有価証券の売却による収入	31,005	89,339
その他	2,974	△46,383
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,198,565	△2,387,290
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	2,020,000	900,000
長期借入金の返済による支出	△461,057	△595,668
リース債務の返済による支出	△18,294	△13,956
自己株式の取得による支出	△61,843	—
配当金の支払額	△423,455	△426,468
非支配株主への配当金の支払額	△756	△756
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,054,593	△136,849
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	65
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,112,782	378,291
現金及び現金同等物の期首残高	6,641,865	3,529,082
現金及び現金同等物の期末残高	3,529,082	3,907,374

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(連結貸借対照表関係)

※1

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
有形固定資産の減価償却累計額	30,155,350千円	31,338,012千円

※2 担保資産及び担保付債務

担保に供している資産は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
建物及び構築物	2,458,106千円	2,287,155千円
土地	814,516	814,516
計	3,272,623	3,101,671

担保付債務は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
短期借入金	542,500千円	426,000千円
1年内返済予定の長期借入金	276,000	234,000
長期借入金	1,039,000	1,097,500
計	1,857,500	1,757,500

※3 非連結子会社及び関連会社に対するものは、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
投資有価証券(株式)	164,372千円	166,998千円
その他(出資金)	68,007	69,473

(連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
役員報酬	135,210千円	116,040千円
給料及び手当	156,582	161,571
賞与引当金繰入額	21,300	23,500
役員賞与引当金繰入額	33,900	42,000
退職給付費用	5,189	5,989
福利厚生費	67,333	73,918
租税公課	133,434	77,902
貸倒引当金繰入額	△888	△2,391

※2 固定資産売却益の内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
機械装置及び運搬具	10,141千円	3,212千円
計	10,141	3,212

※3 固定資産売却損の内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
機械装置及び運搬具	33千円	53千円
計	33	53

※4 固定資産除却損の内容は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
建物及び構築物	3,575千円	5,006千円
機械装置及び運搬具	2,897	2,863
その他 (工具、器具及び備品)	359	2,501
計	6,831	10,371

※5 減損損失

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	減損損失
北陸支店福井営業所 (福井県福井市)	事業用資産	建物および構築物	24,010千円

当連結会計年度において、一部既存倉庫の建物及び付属する設備が老朽化したことから営業倉庫としての利用を取りやめたことにより、将来の使用見込みがなくなったため、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しました。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び経営成績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、倉庫業、賃貸業、運送業、梱包業、通関業等の事業活動を展開しており、事業の種類、性質に応じて、「倉庫業」、「運送業」及び「国際貨物取扱業」の3つを報告セグメントとしております。

「倉庫業」は、倉庫業及び賃貸業を行っております。

「運送業」は、貨物利用運送事業、貨物自動車運送事業及び保険代理店業を行っております。

「国際貨物取扱業」は、梱包業及び通関業を行っております。

2. 報告セグメントごとの営業収益、利益、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部営業収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの営業収益、利益、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	倉庫業	運送業	国際貨物 取扱業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	6,411,553	12,696,886	7,366,992	26,475,432	—	26,475,432
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	121,191	24,753	—	145,945	△145,945	—
計	6,532,744	12,721,639	7,366,992	26,621,377	△145,945	26,475,432
セグメント利益	827,822	1,062,472	465,254	2,355,549	△767,739	1,587,810
セグメント資産	27,436,985	5,229,045	3,647,288	36,313,319	11,976,926	48,290,246
その他の項目						
減価償却費	1,108,420	248,853	27,173	1,384,447	4,931	1,389,378
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	3,389,174	426,132	88,933	3,904,240	11,273	3,915,513

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△767,739千円には、セグメント間取引消去75千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△767,814千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- (2) セグメント資産の調整額11,976,926千円は、各報告セグメントに配分されていない全社資産であります。全社資産の主なものは、親会社の余資運用資金(定期預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び本社管理部門に係る資産等であります。
- (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額11,273千円は、本社管理部門に係る資産の設備投資額であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	倉庫業	運送業	国際貨物 取扱業	計		
営業収益						
外部顧客への営業収益	6,498,178	12,427,640	7,001,818	25,927,637	—	25,927,637
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	118,228	23,567	—	141,796	△141,796	—
計	6,616,407	12,451,208	7,001,818	26,069,434	△141,796	25,927,637
セグメント利益	1,154,495	880,647	406,983	2,442,126	△709,610	1,732,516
セグメント資産	28,757,901	5,756,287	2,927,422	37,441,611	13,464,762	50,906,373
その他の項目						
減価償却費	1,212,286	172,859	23,662	1,408,808	6,460	1,415,269
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	1,915,421	141,896	18,670	2,075,988	3,292	2,079,281

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額△709,610千円には、セグメント間取引消去145千円、各報告セグメントに配分されていない全社費用△709,756千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
 - (2) セグメント資産の調整額13,464,762千円は、各報告セグメントに配分されていない全社資産であります。全社資産の主なものは、親会社の余資運用資金(定期預金)、長期投資資金(投資有価証券)及び本社管理部門に係る資産等であります。
 - (3) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額3,292千円は、本社管理部門に係る資産の設備投資額であります。
2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

b. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	倉庫業	運送業	国際貨物 取扱業	全社・消去	合計
減損損失	24,010	—	—	—	24,010

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	2,026.47円	2,128.81円
1株当たり当期純利益金額	63.66円	68.90円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,210,035	1,307,297
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円)	1,210,035	1,307,297
普通株式の期中平均株式数(千株)	19,007	18,972

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,560,343	6,763,507
受取手形	636,527	620,606
営業未収入金	4,009,034	4,133,808
貯蔵品	17,872	9,138
前払費用	29,865	44,028
その他	184,150	132,084
貸倒引当金	△1,900	△170
流動資産合計	11,435,894	11,703,003
固定資産		
有形固定資産		
建物	13,218,272	12,800,369
構築物	433,699	386,648
機械及び装置	124,231	107,678
車両運搬具	155,448	136,640
工具、器具及び備品	121,738	103,781
土地	11,810,287	11,810,287
リース資産	24,794	35,928
建設仮勘定	385,859	1,503,837
有形固定資産合計	26,274,332	26,885,171
無形固定資産		
ソフトウェア	18,497	66,280
電話加入権	22,281	22,281
無形固定資産合計	40,778	88,562
投資その他の資産		
投資有価証券	8,236,404	9,699,021
関係会社株式	265,518	265,518
関係会社出資金	28,251	28,251
差入保証金	150,686	151,030
その他	65,264	60,832
貸倒引当金	△1,419	△1,419
投資その他の資産合計	8,744,705	10,203,234
固定資産合計	35,059,816	37,176,969
資産合計	46,495,710	48,879,972

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当事業年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	1,929,087	1,921,491
短期借入金	3,070,000	3,070,000
1年内返済予定の長期借入金	556,500	464,000
リース債務	9,250	10,957
未払金	115,774	88,716
未払費用	85,297	92,009
未払法人税等	315,384	380,658
賞与引当金	170,000	179,000
役員賞与引当金	35,200	42,000
その他	370,410	300,124
流動負債合計	6,656,905	6,548,958
固定負債		
長期借入金	1,466,500	1,880,000
リース債務	17,854	28,494
繰延税金負債	923,383	1,264,428
退職給付引当金	150,756	161,263
その他	227,813	227,703
固定負債合計	2,786,307	3,561,890
負債合計	9,443,213	10,110,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,734,294	2,734,294
資本剰余金		
資本準備金	2,263,807	2,263,807
資本剰余金合計	2,263,807	2,263,807
利益剰余金		
利益準備金	442,207	442,207
その他利益剰余金		
圧縮記帳積立金	1,417,691	1,410,086
配当積立金	1,031,000	1,031,000
別途積立金	21,410,000	21,410,000
繰越利益剰余金	5,096,648	5,867,376
利益剰余金合計	29,397,548	30,160,670
自己株式	△98,635	△98,635
株主資本合計	34,297,014	35,060,136
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,755,483	3,708,986
評価・換算差額等合計	2,755,483	3,708,986
純資産合計	37,052,497	38,769,123
負債純資産合計	46,495,710	48,879,972

(2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当事業年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業収益		
倉庫保管料	4,036,941	4,132,155
倉庫荷役料	2,037,164	1,951,178
運送収入	12,696,886	12,427,643
梱包料	1,505,099	1,403,137
通関料	5,861,892	5,598,681
不動産賃貸収入	366,876	443,684
営業収益合計	26,504,860	25,956,480
営業原価	24,279,593	23,746,664
営業総利益	2,225,266	2,209,815
販売費及び一般管理費	756,836	702,626
営業利益	1,468,430	1,507,189
営業外収益		
受取利息及び受取配当金	209,170	197,696
その他	41,624	46,201
営業外収益合計	250,795	243,897
営業外費用		
支払利息	34,615	39,768
その他	1,353	1,204
営業外費用合計	35,968	40,973
経常利益	1,683,257	1,710,112
特別利益		
固定資産売却益	137	—
投資有価証券売却益	30,059	41,273
特別利益合計	30,196	41,273
特別損失		
固定資産除売却損	6,865	10,417
減損損失	—	24,010
その他	8,833	—
特別損失合計	15,698	34,427
税引前当期純利益	1,697,754	1,716,958
法人税、住民税及び事業税	537,010	587,252
法人税等調整額	13,793	△60,297
法人税等合計	550,803	526,955
当期純利益	1,146,951	1,190,002

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金				利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金				
					圧縮記帳積立金	配当積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	2,734,294	2,263,807	2,263,807	442,207	1,425,300	1,031,000	21,410,000	4,370,095	28,678,603
当期変動額									
剰余金の配当								△428,006	△428,006
当期純利益								1,146,951	1,146,951
圧縮記帳積立金の取崩					△7,608			7,608	-
自己株式の取得									
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	△7,608	-	-	726,553	718,944
当期末残高	2,734,294	2,263,807	2,263,807	442,207	1,417,691	1,031,000	21,410,000	5,096,648	29,397,548

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△36,791	33,639,913	3,480,290	3,480,290	37,120,204
当期変動額					
剰余金の配当		△428,006			△428,006
当期純利益		1,146,951			1,146,951
圧縮記帳積立金の取崩		-			-
自己株式の取得	△61,843	△61,843			△61,843
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△724,806	△724,806	△724,806
当期変動額合計	△61,843	657,100	△724,806	△724,806	△67,706
当期末残高	△98,635	34,297,014	2,755,483	2,755,483	37,052,497

当事業年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				
		資本準備金	資本剰余金 合計	利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金 合計
					圧縮記帳積 立金	配当積立金	別途積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	2,734,294	2,263,807	2,263,807	442,207	1,417,691	1,031,000	21,410,000	5,096,648	29,397,548
当期変動額									
剰余金の配当								△426,880	△426,880
当期純利益								1,190,002	1,190,002
圧縮記帳積立金の 取崩					△7,605			7,605	-
自己株式の取得									
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)									
当期変動額合計	-	-	-	-	△7,605	-	-	770,727	763,122
当期末残高	2,734,294	2,263,807	2,263,807	442,207	1,410,086	1,031,000	21,410,000	5,867,376	30,160,670

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差 額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△98,635	34,297,014	2,755,483	2,755,483	37,052,497
当期変動額					
剰余金の配当		△426,880			△426,880
当期純利益		1,190,002			1,190,002
圧縮記帳積立金の 取崩		-			-
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)			953,503	953,503	953,503
当期変動額合計	-	763,122	953,503	953,503	1,716,625
当期末残高	△98,635	35,060,136	3,708,986	3,708,986	38,769,123

5. その他

(1) 役員の移動

- ① 代表取締役の異動
該当事項はありません。

- ② その他の役員の異動
 - ・ 新任取締役
取締役(社外) 安達 義二郎

 - ・ 退任取締役
取締役(社外) 網島 勉

 - ・ 退任監査役
監査役 吉本 喜博

- ③ 異動年月日
2021年6月25日

その他の異動につきましては、2021年3月29日に開示しております「役員人事および執行役員ならびに主要な人事に関するお知らせ」のとおりであります。